

習 環 審 第 5 号
平成 1 8 年 1 月 1 7 日

習志野市長 荒 木 勇 様

習志野市環境審議会
会 長 戎 野 棟 一

習志野市環境基本計画骨子案について（答申）

平成 1 7 年 1 1 月 1 5 日付け自保第 1 2 8 号で諮問のありましたこのことについては、下記のとおり答申します。

記

- 1 習志野市環境基本計画骨子案
別添のとおり修正することが適当と認められます。
- 2 附帯意見
 - (1) 今後の計画策定における施策の検討及び具現化等にあたっては、以下の事項について、十分に配慮していただきたい。
 - 生物多様性の確保
 - 既存の谷津田の保全
 - 自然の創出、特に小中学校へのビオトープの設置による自然環境の学習推進及び回復
 - 親水性を持った水辺の整備
 - 大人への環境学習の推進
 - 事業者との協働における環境学習への取り組み
 - (2) 今後の計画策定にあたり、1 7 年度に実施した環境意識調査、今後実施が予定されているパブリックコメント等、市民の意見を反映させていただきたい。
 - (3) 計画の進捗状況の評価にあたっては、市民との意見交換・交流による手法を取り入れることを検討していただきたい。
 - (4) 市民との協働として、ゆくゆくは市民自身が担うものとして、現在、個別に環境保全活動をしている方々の顔合わせや交流する機会の立ち上げを検討していただきたい。
 - (5) 本環境基本計画は、本市の環境面における施策の指針となるものであり、都市マスタープランをはじめとする他計画と同様に、その理念、意図等が本市のまちづくりの中で、十分に反映されるよう強く要望する。